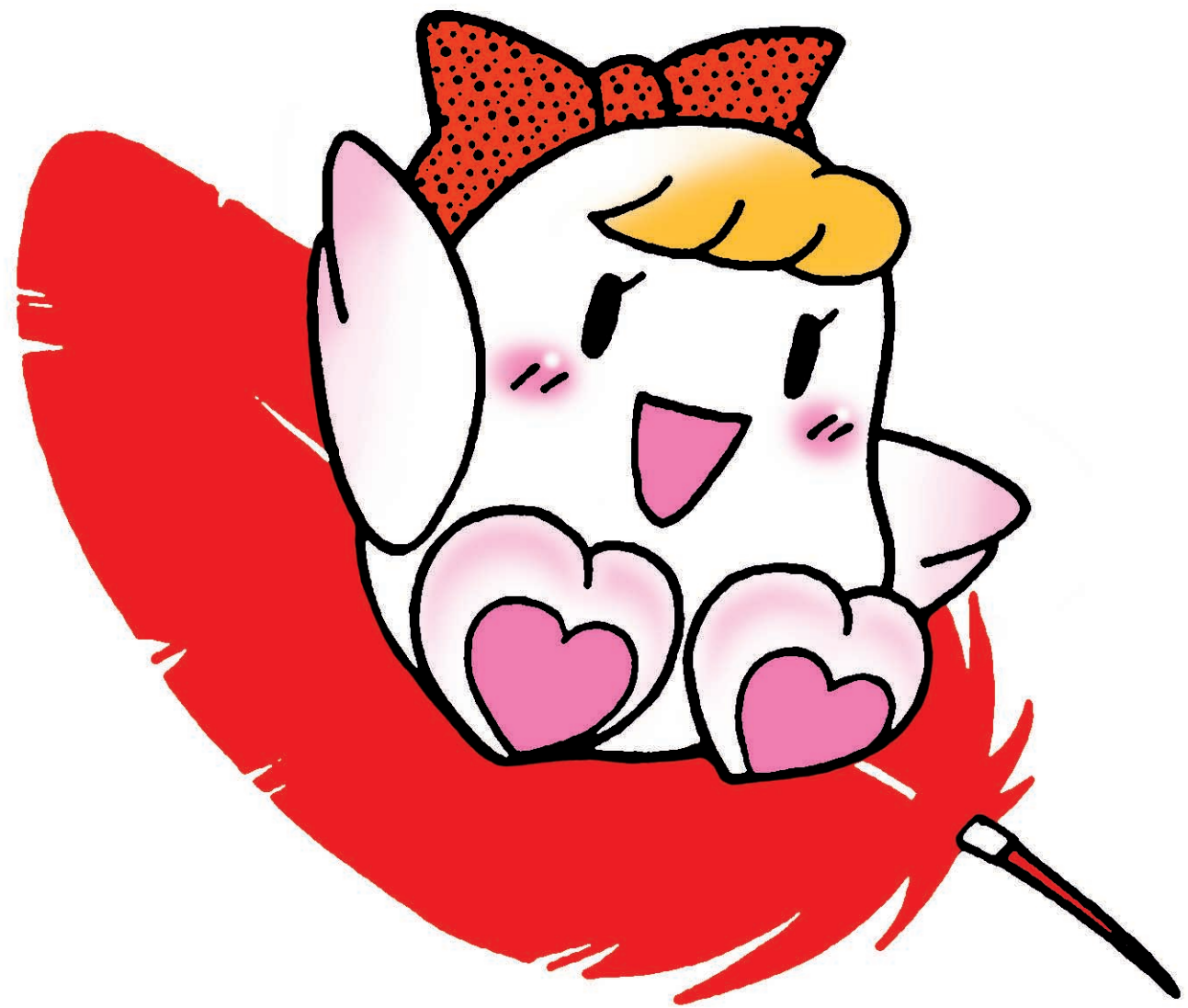


# 共同募金の発祥



現在行っている募金方法が誕生したのは、1913(大正2)年、アメリカのオハイオ州クリーブランド市です。地域で支援を必要とする人のために、独立した団体が募金活動を行い、その寄付金を配分しました。

日本においては、1947(昭和22)年に、第1回目の共同募金運動が行われました。このときの運動期間は、11月25日からの1か月間でした。

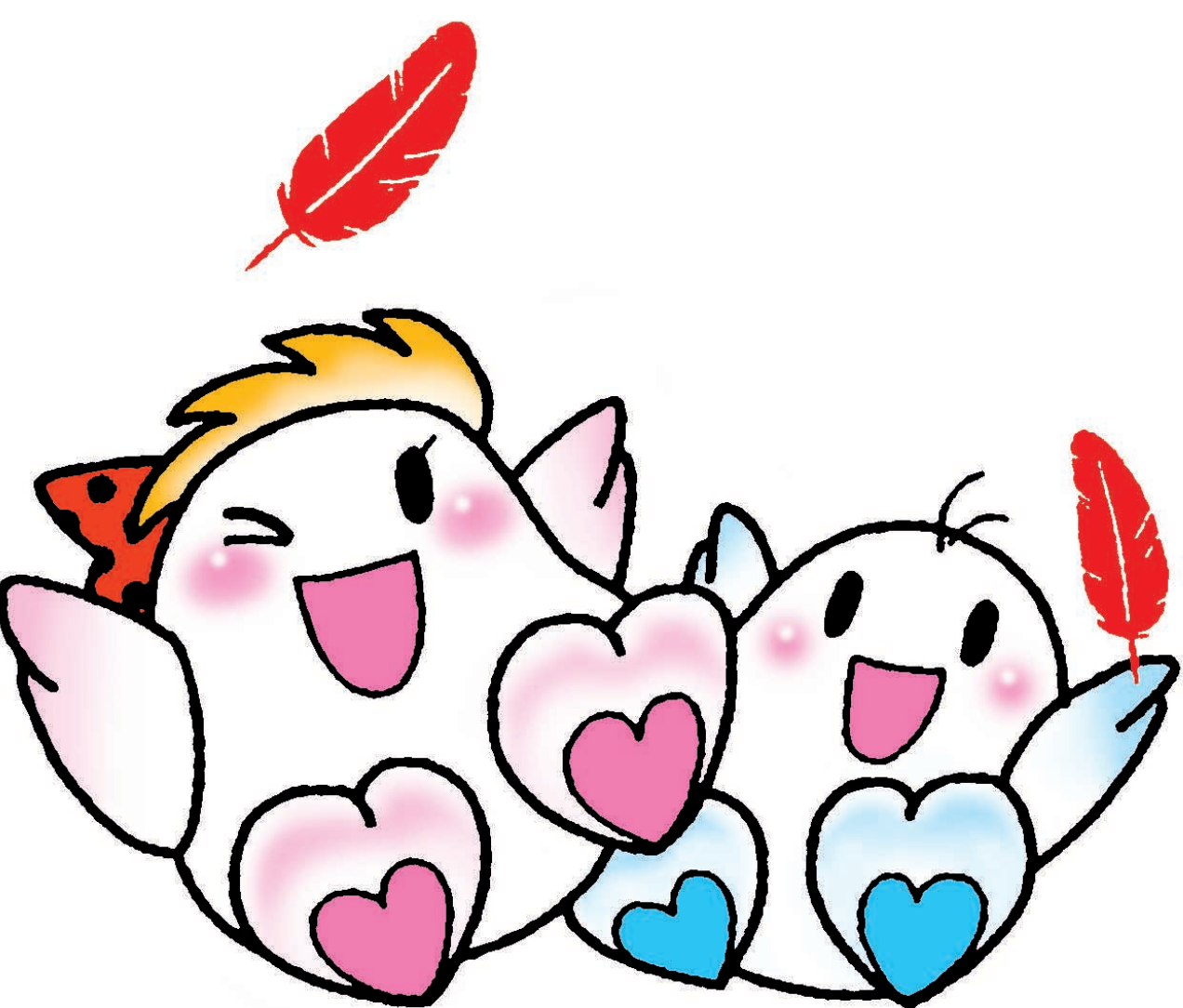
# 運動のシンボルは「赤い羽根」

「赤い羽根」は、昔、ヨーロッパやアメリカで、正義や勇気のしるしとして使われていました。共同募金のシンボルとして最初に使ったのは、アメリカです。これにヒントを得て、日本では、1948(昭和23)年から使うことになりました。今では「たすけあい」、「思いやり」、「しあわせ」のシンボルとなりました。

また、赤い羽根を実際に使っているのは、日本と南アフリカだけです。



# 世界の共同募金



アメリカに続いて、カナダ、南アフリカで共同募金が始まりました。日本は4番目に始まり、今では世界の49の国や地域で行われています。



ケータイ <http://m.akaihane.or.jp>  
パソコン [www.akaihane.or.jp](http://www.akaihane.or.jp)



郵便局やインターネットからも募金できます。

赤い羽根共同募金に、ご協力をお願いいたします。  
運動期間 10月1日▶12月31日